

奈良県再生可能エネルギー等導入推進事業評価委員会 (第4回) 議事要旨

開催日時 平成27年11月17日(火) 14時00分～15時00分

場 所 奈良県中小企業会館

出席者

- (1) 委員：阪元勇輝委員長、遊津隆義委員
- (2) 県：エネルギー政策課長、エネルギー政策課職員 4名

議事

- (1) 第四次配分案について
- (2) その他

委員からの主な意見等

委員／事務局	発言内容
委員	特に異論はない。ただ、今回要望が少ないと感じている。今まで一件も要望が無い市町村もかなりあるのが不思議である。 奈良市の増額は、太陽熱が街路灯に変わったことで金額がアップするということか。
事務局	お見込のとおり。JR奈良駅の近くでもあり、帰宅困難者も100年会館への避難ということになるので、外に街路灯を入れたほうが、エリア全体のことを考えると効果的であることから、変更したいとの申し出が奈良市からあった。理由が納得できるものであったので、やむを得ないものとして変更を認めることとしたい。
委員	できるだけ通常時も使えるようにした方がよいので、そういう面ではこの施設に関しては街路灯の方が効果的だと思う。
委員	街路灯はどのようなものを何本導入予定か。
事務局	太陽光及び蓄電池付きのソーラー街路灯で、国の直接採択事業の基準を参考に上限8基としている。
委員	要望を出している自治体のうち、2自治体が不採択となるが、工夫させるような助言・指導はしたのか。

委員／事務局	発 言 内 容
事務局	<p>助言はしたが、優先項目を2つにするのは、厳しい状況であった。優先項目1つでも採択するという検討もしたが、これまでの要望との公平性の視点も含め、今回変更する根拠が無いという結論となり、従来通りの考え方で採択案となっている。</p> <p>現在、県では第2次エネルギービジョンを策定中であり、その中の項目として、避難所と公共施設への再生可能エネルギーによる電源確保という項目も入る予定である。そのことから、第2次ビジョンの取組期間である平成28年度事業は、より積極的に採択するという事で優先項目1つでも採択することを検討する。第2次ビジョン(案)は、12月からパブリックコメントで内容を公表する予定であることから、次の要望から先行してこの考え方で検討することとしたい。</p> <p>以上の理由により、12月にもう一度委員会を開催させていただきたいと考えている。</p>
委員	<p>了解した。</p>
委員	<p>民間の状況や見通しなどはどうか。</p>
事務局	<p>今年度は応募なし。来年度も年度が始まってすぐに募集をかける予定だが、補助率が3分の1なので厳しいと思う。</p>
委員	<p>ペレットストーブを導入する箇所が多いが、ペレットの供給についてはどうか。</p>
事務局	<p>奈良の木ブランド課が民間で供給できる場所をつくるように取り組んでいるところ。</p>
委員	<p>当面は購入先が限られることになると思われるが、こういう面も含めて、事後の効果の検証やアピールなどしっかりしてもらいたい。</p>
委員	<p>太陽光発電については、発電量の計測はできるようになっているのか。</p>
事務局	<p>計測器は入れている。</p>
委員	<p>報告義務はあるか。</p>
事務局	<p>環境省に毎年報告していくことになる。</p>
委員	<p>設備を入れたが活用していないという状況にならないように、事後の報告や事例発表などでしっかり管理して欲しい。</p>
委員	<p>第4次配分案については、事務局案で了解した。</p>